



2020年3月期 第1四半期 決算プレゼンテーション

2019年7月30日

【免責事項】

本資料における市場予測や業績見通し等の内容は、現時点で入手可能な情報に基づき、経営者が判断したものであります。従いまして、これらの内容はリスクや不確実性を含んでおり、将来における実際の業績は、様々な影響によって大きく異なる結果となりうることを、予めご承知おきください。

© SEGA SAMMY HOLDINGS INC. All Rights Reserved.

本日は、第1四半期 決算に関する電話会議にお時間を頂き、誠にありがとうございます。

セガサミーホールディングス 上席執行役員 財務経理本部長の大脇です。

本日は、私大脇と、上席執行役員 グループ代表室長の高橋の2名でご説明させていただきます。

なお、本日は、弊社ウェブサイトに掲載しております、

『2020年3月期 第1四半期決算プレゼンテーション』資料を使用して説明させていただきます。

それでは、資料3ページ目をご覧ください。

1. 2020年3月期 第1四半期実績 /今後の見通し

決算ハイライト

(単位：億円)

	2019/3		2020/3	
	1Q実績	通期実績	1Q実績	通期計画
売上高	688	3,316	727	3,900
営業利益	9	130	34	270
営業利益率	1.3%	3.9%	4.7%	6.9%
営業外収益	7	21	8	15
営業外費用	9	77	19	55
経常利益	6	74	23	230
特別利益	0	82	0	-
特別損失	0	87	1	-
税引前当期純利益	7	69	22	230
親会社株主に帰属する当期純利益	3	26	17	150
ROA*	-	0.6%	-	-

2020/3期 1Q実績

- ◆ 前年同期比で増収、増益
- ✓ エンタテインメントコンテンツ事業のパッケージゲーム分野等が好調
- ✓ デジタルゲーム分野においてタイトル譲渡益を計上

今後の見通し

- ◆ 遊技機事業において順次大型タイトル販売を予定するも、パチスロ適合状況の見極めが必要
- ◆ エンタテインメントコンテンツ事業各分野において新作タイトル等を投入

※ROA (%) = 親会社株主に帰属する当期純利益 / 総資産



⇒詳細は『2020年3月期第1四半期決算説明・補足資料』参照

- 3 -

第1四半期におきましては、前年同期比で増収、増益となりました。

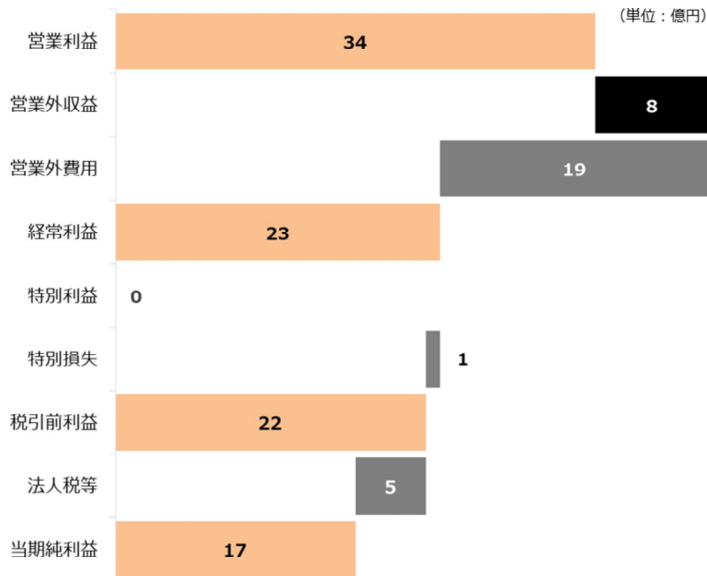
主にエンタテインメントコンテンツ事業のパッケージゲーム分野の好調および、デジタルゲーム分野における既存タイトル譲渡益の計上などによるものとなります。

第2四半期以降の見通しですが、遊技機事業において大型タイトルの販売を計画しているものの、依然、パチスロ遊技機の適合率が低水準で推移している為、見極めが必要です。

その他、エンタテインメントコンテンツ事業におきましては各分野にて新作タイトルの投入を予定しております。

実績及び見通しの詳細につきましてはセグメント別パートにてご説明させていただきます。

段階利益 (2020/3期 1Q実績)



営業外損益、特別損益内訳 (単位：億円)

営業外収益	8
受取配当金	2
為替差益	1
営業外費用	19
持分法投資損失	12

SEGA Sammy

- 4 -

続きまして、4ページより各段階利益の内訳となります。

営業外費用につきましては、

パラダイスシティの1～3月期実績が取り込まれておりますが、

昨年9月に開業したノンゲーミングエリアのFunCityにおける

固定費が増加したことから、前年同期と比較して損失幅は拡大しております。

連結費用

(単位：億円)

	2019/3		2020/3		2020/3 1Q実績 主な要因
	1Q実績	通期実績	1Q実績	通期計画	
研究開発費・コンテンツ制作費	141	666	171	725	パッケージゲーム新作タイトル投入に伴い増加
設備投資額	64	344	51	248	本社移転完了に伴い減少
減価償却費	39	145	36	136	-
広告宣伝費	33	160	36	210	-

SEGA Sammy

- 5 -

続きまして、5ページ目より各種費用になります。

研究開発費につきましては、『Total War: THREE KINGDOMS』等のパッケージゲームの新作タイトル投入に伴い増加いたしました。

なお、今回の第1四半期決算以降、パッケージゲームに関するコンテンツ制作費の償却ルールが変更となります。本件はPC向けダウンロード販売を行うタイトルの一部を対象としており、大まかに変更内容をお伝えしますと、PC向けタイトルのコンテンツ制作費は、発売後3ヶ月間は販売規模に連動して償却し、残額を定額償却しておりますが、今回、この残額の償却期間が従来の9カ月から、21ヶ月に変更されました。これは、昨今の販売期間の長期化を受けた変更となります。

設備投資額につきましては、昨年本社移転によって増加していた分の反動で前年同期比で減少しております。

連結貸借対照表 要約

(単位：億円)

	2019/3期末	当第1四半期末	増減
流動資産	2,604	2,397	-207
現金・預金	1,374	768	-606
有価証券	145	542	+397
固定資産	2,041	2,047	+6
資産合計	4,646	4,445	-201
流動負債	875	831	-44
社債（1年内）	125	125	-
固定負債	717	628	-89
社債	100	-	-100
負債合計	1,593	1,460	-133
純資産合計	3,053	2,984	-69
総資産	4,646	4,445	-201

	2019/3期末	当第1四半期末	増減
現金・現金同等物	1,480	1,245	-235
有利子負債	761	662	-99
ネットキャッシュ	718	583	-135
自己資本比率	65.1%	66.5%	

SEGA Sammy

⇒詳細は『2020年3月期第1四半期決算説明・補足資料』参照

- 6 -

続きまして、6ページ目、連結貸借対照表をご覧ください。

流動資産は約207億円の減少となっております。

流動資産のうち、現金・預金が大きく減少しておりますが、これは社債の償還や期末配当金の支払い等により純粋に減少したほか、譲渡性預金・合同運用信託等の運用を行った結果、有価証券に振り替わったことも影響しております。

次に固定資産ですが、

セガヨーロッパなどの一部海外子会社におきまして当第1四半期より、国際財務報告基準（IFRS）第16号「リース」を適用しております。この会計方針の変更により、有形固定資産は約33億円増加の影響があり、固定資産全体では6億円の増加となりました。

また、負債につきましては、主に社債の償還により133億円の減少となっております。

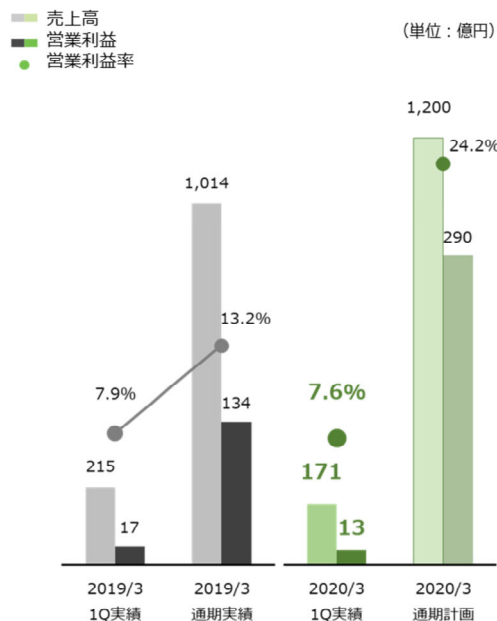
以上の結果、第1四半期末の自己資本比率は前期末から約1.4ポイント上昇し、66.5%となっております。

詳細は「決算説明・補足資料」もしくは「決算短信」にてご確認ください。

なお、キャッシュフローについて、現在監査中ではございますが、現時点での見込みをお知らせいたします。営業キャッシュフローは15億円、投資キャッシュフローは▲93億円、財務キャッシュフローは▲148億円となる見込みです。

正式な数値に関しては8月9日発行予定の四半期報告書にて開示いたします。

2. セグメント別第1四半期実績 / 今後の見通し



SEGA Sammy

2020/3期 1Q実績

- ◆ パチスロ前期タイトルの継続販売により、遊技機事業全体では順調な立ち上がり
 - ✓ パチスロ：前期販売タイトルの継続販売が堅調
 - ✓ パチンコ：高継続機を中心に販売するも前年同期比で販売台数減

今後の見通し

- ◆ 順次大型タイトルを販売予定
 - ✓ パチスロ：3Qの主力旧基準機撤去による、入れ替え需要増を見込むも型式試験適合率が低水準に推移しており、見極めが必要
 - ✓ パチンコ：大型タイトル『P北斗の拳8霸王』販売

(販売台数の推移)	2019/3 1Q	2019/3 通期	2020/3 1Q	2020/3 通期(計画)
パチスロ	9,073台	67,140台	17,930台	120,000台
パチンコ	40,997台	159,848台	16,212台	164,000台
本体	13,908台	91,858台	8,020台	78,600台
盤面	27,089台	67,990台	8,192台	85,400台

- 8 -

続きまして、8ページ目よりセグメント別の詳細です。

まずは遊技機事業ですが、第1四半期におきましては、前年同期比で減収減益となりましたが、新タイトルが少ない中では順調な立ち上がりとなっております。

パチスロでは『パチスロディスクアップ』、『パチスロ猛獣王 王者の咆哮』等の前期販売タイトルを継続販売し、堅調に推移いたしました。

パチンコでは『P SHOW BY ROCK!!』等の高継続機を中心とした新作の販売を行いました。比較的強いタイトルの販売を行っていた前年同期からは販売台数が減少しました。

今後の見通しにつきましては、

パチスロにおきましては、第2四半期で1タイトルの販売が決定しているほか、第3四半期に予定されている主力旧基準機撤去に伴う入替需要を見込んだ大型タイトルの販売にむけて、準備を進めております。

しかしながら先ほど申し上げた通り、パチスロの型式試験の適合状況は依然として低水準で推移していることから、見極めが必要です。

パチンコにおきましては、第2四半期より大型タイトルである『P北斗の拳8霸王』を含む複数タイトルを販売してまいります。

なお、『P北斗の拳8霸王』については9月上旬から順次稼働開始予定です。

1Qの主な販売タイトル



『パチスロディスクアップ』
第5弾 ホワイトパネル

©Sammy
SEGASammy



『P SHOW BY ROCK!!』

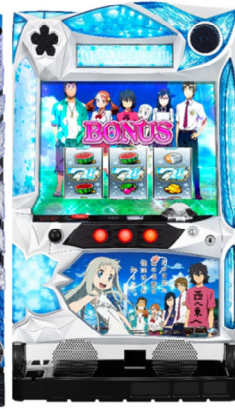
©2012,2019 SANRIO CO.,LTD. APPROVAL
NO.5593668 SP# ©Sammy

2Q以降の販売予定タイトル



『Pあの日見た花の
名前を僕達はまだ知らない。』

©ANOHANA PROJECT ©Sammy



『パチスロあの日見た花の
名前を僕達はまだ知らない。』

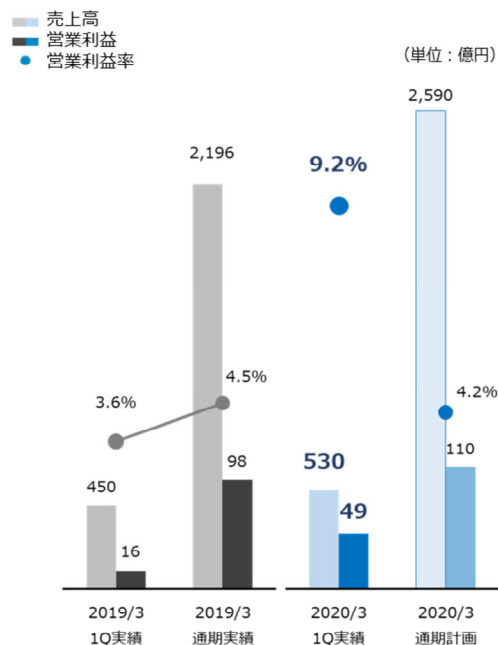
©ANOHANA PROJECT ©Sammy



『P北斗の拳8霸王』

©武蔵野 遊技機/NBP 1863/NBP 2007 高橋野郎監製YSE-Q20 ©Sammy

エンタテインメントコンテンツ事業



2020/3期 1Q実績

- ◆ 事業全体が好調に推移
 - ✓ パッケージゲーム分野における新作の好調
 - ✓ デジタルゲーム分野における一部既存タイトルの好調およびタイトルの譲渡等による収益を計上

今後の見通し

- ◆ 各分野にて新作タイトル等を投入
- ◆ デジタルゲーム分野におけるモバイル向けタイトルの運営規模の適正化や、リソース移管の継続推進

SEGA Sammy

- 10 -

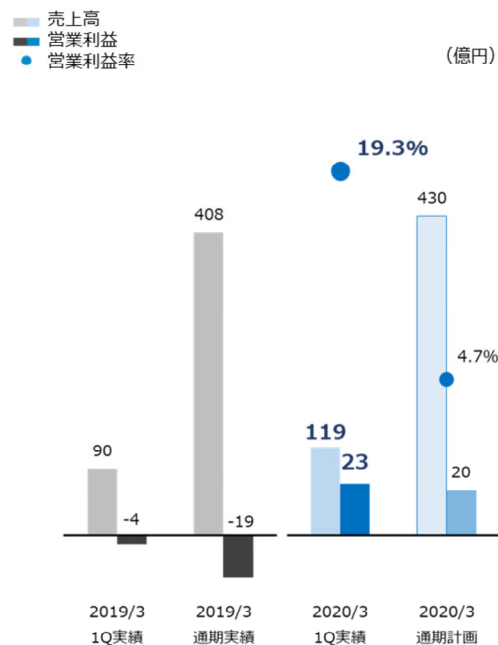
続きまして、10ページ目よりエンタテインメントコンテンツ事業です。

当第1四半期におきましては、アミューズメント機器分野を除いたすべての分野が好調に推移し、事業全体で前年同期比 増収、増益となりました。

パッケージゲーム分野における新作タイトルの好調や、デジタルゲーム分野におけるタイトル譲渡益の計上などが主な要因となります。

今後につきましては各分野において新作タイトルを複数投入するほか、デジタルゲーム分野を中心に引き続きタイトルの運営規模 適正化等を進めてまいります。

続きましてサブセグメントについてご説明いたします。11ページをご参照ください。



2020/3期 1Q実績

- ◆ 一部既存タイトルの好調などにより、大幅に改善
 - ✓ 『ファンタシースターオンライン2』の大型アップデートによる好調な推移
 - ✓ 『プロサッカークラブをつくろう! ロード・トゥ・ワールド』の1周年イベントの好調
- ◆ 開発・運営タイトルの適正化、リソースの移管が進捗
 - ✓ 2タイトルの運営を終了
 - ✓ タイトルの譲渡等により収益を計上

今後の見通し

- ◆ 新作タイトルを複数投入
 - ✓ 『けものフレンズ3』： 2019年9月24日サービス開始予定
 - ✓ 『北斗の拳 LEGENDS ReVIVE』： 2019年サービス開始予定
 - ✓ 『リーグオブワンダーランド』： 2019年サービス開始予定
- ◆ 開発・運営タイトルの適正化、リソースの移管を継続推進
 - ✓ 1タイトルの運営終了を決定

SEGA Sammy

- 11 -

まずデジタルゲーム分野ですが、
 主カタイトル『ファンタシースターオンライン2』の大型アップデートや、
 『プロサッカークラブをつくろう! ロード・トゥ・ワールド』の1周年イベントが功を奏して、
 収益トレンドに改善が見受けられました。

また、開発・運営タイトルの適正化やリソースの移管を推進する中で、
 新たに不採算であった2タイトルの運営を終了したほか、タイトル譲渡等による収益を計上いたしました。
 その他、前期に行った減損処理の影響によって、開発費・コンテンツ制作費が減少しております。
 以上の結果、前年同期比で収益改善が進み、黒字転換となりました。

今後の見通しにつきましては、
 『けものフレンズ3』ほか、複数の新作タイトル投入を予定しております。
 また、引き続き開発・運営タイトルの適正化を推進する中で
 8月末に『ワンダーグラビティ ～ピノと重力使い～』の運営終了を予定しております。

1Qの主なトピックス

Episode 6が好調なスタート



『ファンタシースターオンライン2』
©SEGA

1周年イベントが好調



『プロサッカークラブをつくろう! ロード・トゥ・ワールド』

SEGA Sammy

©SEGA. All Rights Reserved By JFA
The use of images and names of the football players in this game is under
license from FIFPro Commercial Enterprises BV. FIFPro is a registered
trademark of FIFPro Commercial Enterprises BV.

2Q以降の主なトピックス

複数タイトルのサービス開始予定

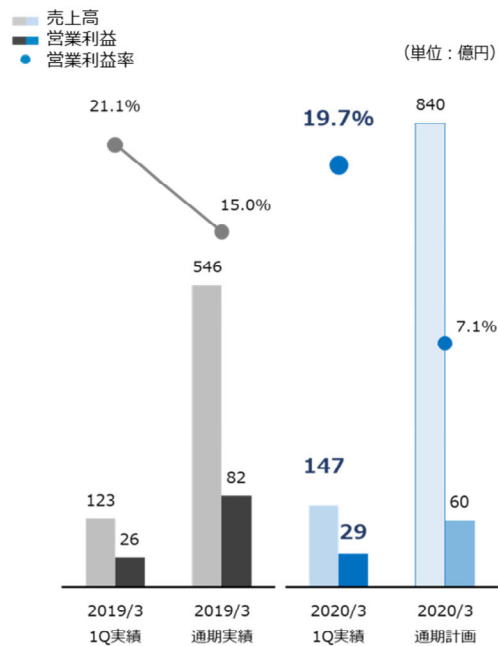


『けものフレンズ3』
©けものフレンズプロジェクト 2 G ©SEGA



『北斗の拳 LEGENDS ReVIVE』

©武論善・原哲夫/NSP 1983 著作権保証GC-218
©SEGA



2020/3期 1Q実績

◆ 新作タイトルの貢献により、好調に推移

- ✓ 『Total War: THREE KINGDOMS』の販売が想定を大きく上回る
- ✓ 前期新作タイトルが少なかったことにより、リピート販売が前年同期比で減少

今後の見通し

◆ 新作タイトルを複数投入

- ✓ 『メガドライブミニ』: 2019年9月19日発売予定
- ✓ 『マリオ&ソニック AT 東京2020オリンピック™』: 2019年11月発売予定
- ✓ 『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』: 2019年10月31日発売予定

パッケージ販売本数

	2019/3 1Q実績	2019/3 実績	2020/3 1Q実績	2020/3 計画
新作	85	409	230	1,069
リピート	485	1,935	394	1,450
合計	570	2,344	624	2,519

SEGA Sammy

- 13 -

続きまして、13ページ目よりパッケージゲームです。

第1四半期では、新作タイトル『Total War: THREE KINGDOMS』がシリーズ史上最速の発売初週で100万本を突破するなど、アジアを中心に想定を大きく上回る販売本数となり、好調に推移いたしました。

また、リピート販売につきましても、前期の新作タイトルが少なかったことから前年同期からは減少しましたが、引き続き想定を上回って好調に推移しております。

今後の見通しにつきましては、

第2四半期では『メガドライブミニ』が9月に発売予定となっている他、

第3四半期以降は『マリオ&ソニック AT 東京2020オリンピック™』や『ペルソナ5 ザ・ロイヤル』『新サクラ大戦』など、複数新作タイトルを投入してまいります。

1Qの主なトピックス

『Total War: THREE KINGDOMS』
発売初週で100万本突破



『Total War: THREE KINGDOMS』
© SEGA. Developed by The Creative
Assembly Limited.

Two Point Studios社の全株式を取得



SEGA Sammy

2Q以降の主なトピックス

複数タイトルを発売

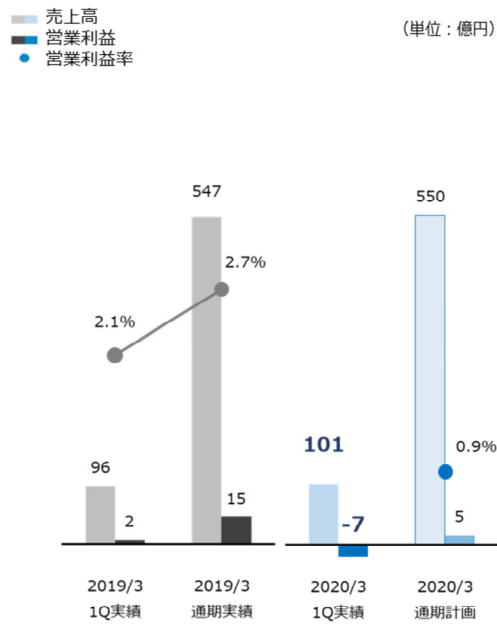


『メガドライブミニ』
© SEGA



『Mario & Sonic AT 東京2020オリンピック™』

TM IOC/TOKYO2020/USOC 36USC220506.
© 2019 IOC. All Rights Reserved.
© NINTENDO. ©SEGA.



2020/3期 1Q実績

- ◆ 本社移転に伴う固定費増加により損失計上
- ◆ プライズ機の販売は引き続き好調の一方、ビデオゲームの稼働が低調

今後の見通し

- ◆ プライズ機に加え、主カタイトル『StarHorse』の新作等を投入予定
 - ✓ 『StarHorse4』（今冬稼働予定）
 - ✓ 『maimai でらっくす』（2019年7月稼働）

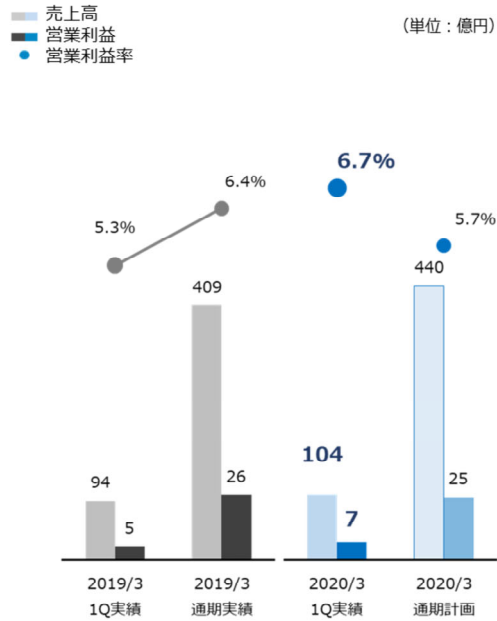
続きまして、15ページ目からアミューズメント機器になります。

第1四半期は、

『UFOキャッチャー9』などプライズ機の販売は引き続き好調に推移しておりますが、ビデオゲームにおいてレベニューシェアタイトルの一部の稼働が想定を下回り低調に推移したほか、本社移転に伴う固定費の増加などにより損失計上となっております。

今後につきましては

『スターホース』シリーズの最新作でメダルゲーム初となる完全な電子メダル化を実現した『StarHorse4』が今冬に稼働開始を予定しております。



2020/3期 1Q実績

- ◆ プライズを中心に堅調に推移
- ◆ 5年連続既存店売上前年比100%超えを継続
- ◆ 出店：1店舗 退店：0店舗 実施

今後の見通し

- ◆ 新規出店をすすめる（今期9店舗出店予定）
- ◆ 10月からの消費増税の影響を見込む

国内アミューズメント施設 店舗数/既存店売上前年比

	2019/3 1Q 実績	2019/3 実績	2020/3 1Q 実績	2020/3 計画
店舗数(店舗)	189	190	191	195
既存店売上 前年比(%)	104.2	104.0	109.0	104.4

SEGA Sammy

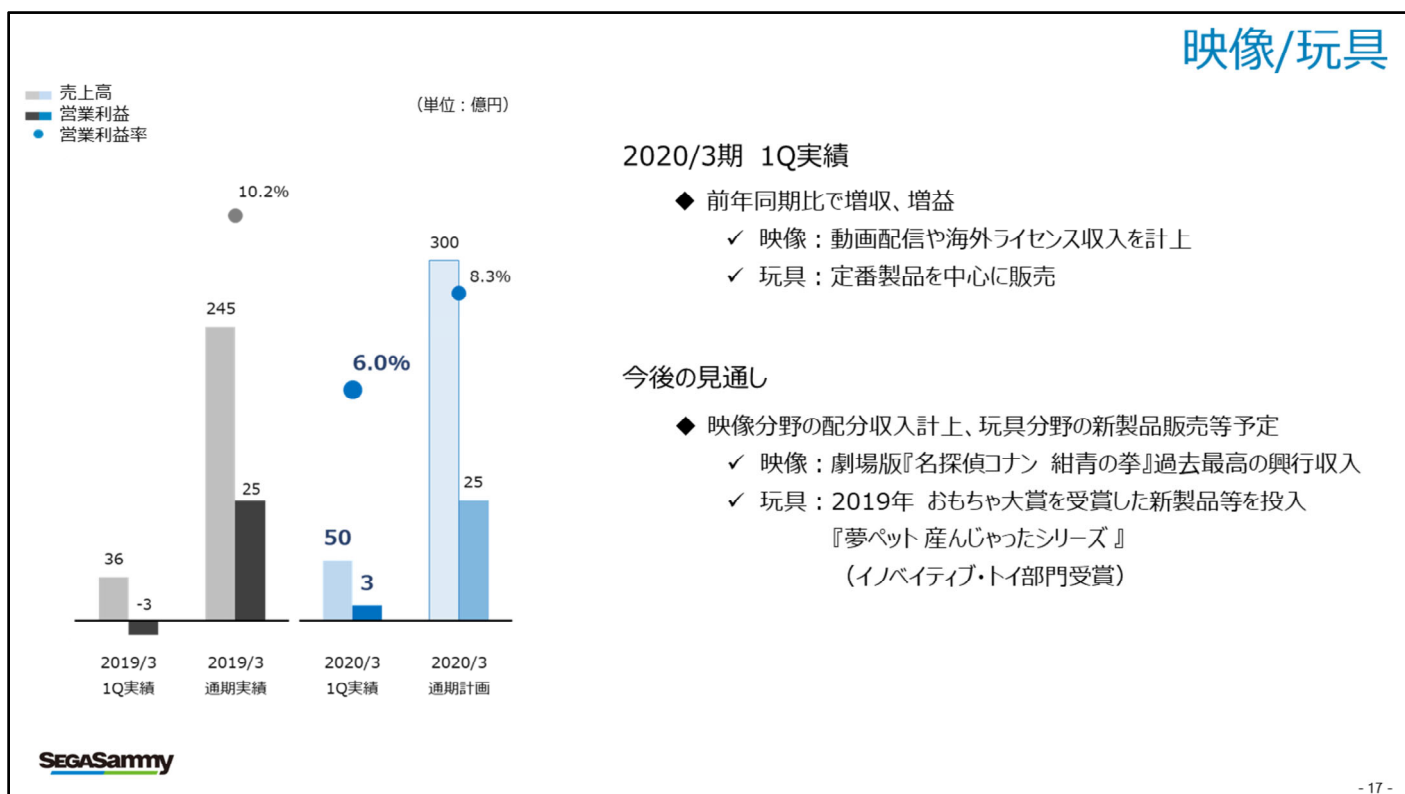
16ページ目より、アミューズメント施設分野となります。

第1四半期は、引き続きプライズカテゴリーを中心に堅調に推移しており、既存店売上高前年比は109.0%となっております。

今後の見通しですが、

第2四半期以降で新たに8店舗の出店を予定しております。

また、10月に実施予定の消費増税の影響を見込んでおります。



17ページ目は、映像、玩具分野となります。

第1四半期は増収、増益となりました。

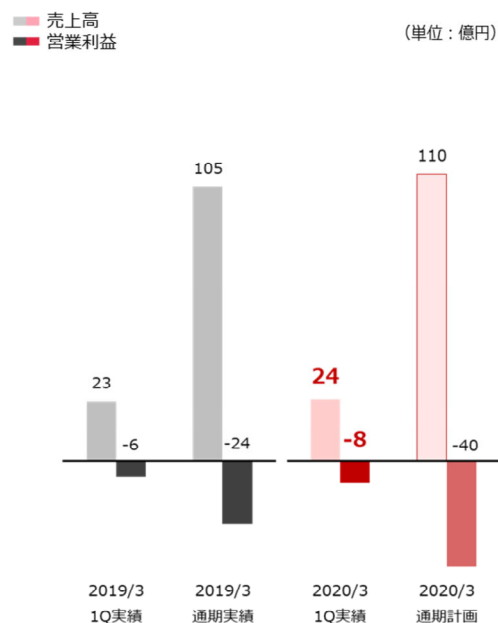
映像分野に関しましては、主要IPを中心とした動画配信や海外ライセンス収入を計上いたしました。

また、玩具分野におきましてはアンパンマンシリーズを中心とした定番製品および新製品の販売を行い、堅調に推移いたしました。

今後の見通しですが、

映像については今年度の劇場版『名探偵コナン』が、前作を超えるヒットを記録し、過去最高の興行収入となっております。こちらの配分収入は第2四半期に計上される予定です。

玩具については、定番製品に加え、おもちゃ大賞を受賞した新製品等、複数投入してまいります。



2020/3期 1Q実績

- ◆ フェニックスリゾートの収益改善も国内IRの費用が増加し、増収、損失幅拡大

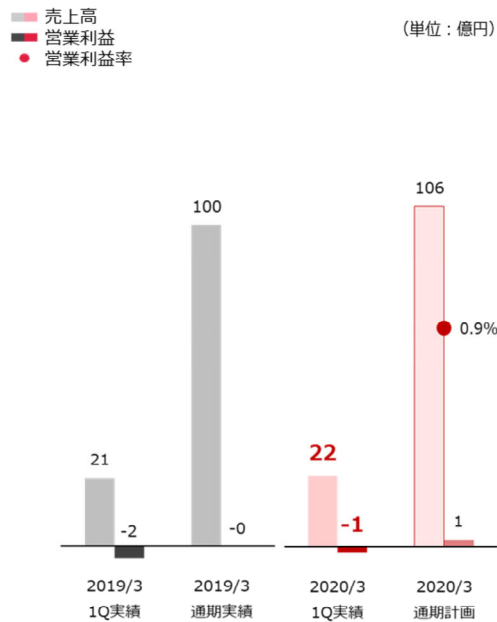
今後の見通し

- ◆ 既存施設において引き続き収益改善に取り組む
- ◆ 国内IR参入に向けた取り組みの活発化による費用増

続きまして、18ページ目よりリゾート事業についてご説明いたします。

リゾート事業は、フェニックスリゾートの収益が改善したものの、国内IR参入に向けた先行費用の増加により、損失幅拡大となりました。

今後の見通しにつきましては、既存施設の収益改善に取り組む一方、引き続き国内IR事業参入に向けた取り組みの活発化を見込むため、費用の増加を予定しております。



2020/3期 1Q実績

- ◆ 各施設利用者増加により、堅調に推移
 - ✓ 大型連休効果
 - ✓ 九州域内近隣向け施策の実施
 - ✓ MICE利用の増加

今後の見通し

- ◆ 各種営業施策を継続的に実施し、収益性の向上に取り組む
 - ✓ 『食×体験』をテーマとした新ブランドスローガンのもと、プロモーションを実施
 - ✓ シーガイア プレミアム メンバークラブ会員へのリピート率向上施策
- ◆ ゴルフおよび、MICE利用の活性化に取り組む

続きまして、19ページ目ではフェニックスリゾートについてご説明いたします。

第1四半期におきましては、4月から5月にかけて大型連休もありましたが、近隣向けプロモーションをはじめとした各種施策の効果や、MICE利用の増加などにより各施設の利用者が増加し、堅調に推移いたしました。

今後につきましては、『食』と『体験』をテーマとした新ブランドスローガン『日本でいちばん“美味しい”リゾートへ』のもと、各種プロモーションを実施し、更なる収益改善を目指してまいります。

新ブランドスローガン

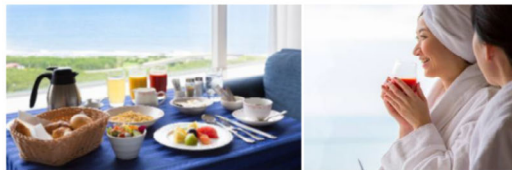
日本でいちばん“美味しい”リゾートへ

The DELICIOUS RESORT

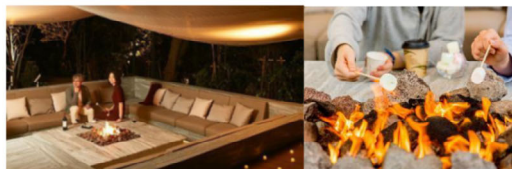
フェニックスリゾート



食 × View 眺



食 × Time 時



食 × Active 動



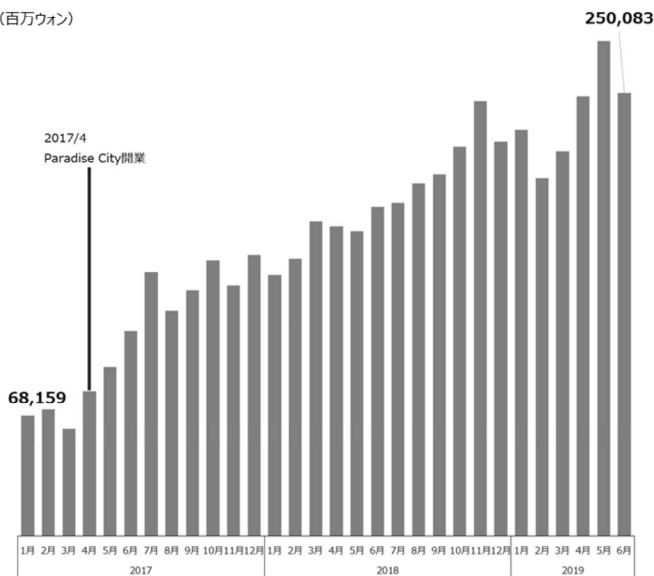
SEGA Sammy

パラダイスセガサミー（持分法適用）

PARADISE SEGASAMMYドロップ額*推移

(億円)

(百万円)



		2019/3期 1Q	2020/3期 1Q
売上高		652	906
	カジノ	556	747
	ホテル	95	132
	その他	-	26
売上原価		582	887
	カジノ	362	445
	ホテル	219	273
	その他	-	167
売上総利益		69	19
	販売費及び一般管理費	60	90
営業利益		8	-71
EBITDA		96	82
純利益		-41	-143

出所：パラダイス社決算資料より作成

セガサミー	2019/3期 1Q	2020/3期 1Q
持分法取込額（億円）	-3	-8



※『パラダイスセガサミー』は当社持分法適用関連会社 ※『パラダイスセガサミー』の数値は3ヶ月遅れで計上

- 21 -

21ページでは、当社持分法適用関連会社である、パラダイスセガサミーについてご説明いたします。

当社決算には、3カ月遅れで計上されているため、2019年1～3月の業績となりますが、前年同期比で損失幅が拡大しております。これは主にFunCityの開業に伴う固定費の増加等によるものとなります。一方で、5月には、テーブルドロップが過去最高額を更新するなど、引き続き多くのお客様にご利用いただいております。

第1四半期における当社決算の影響としましては約8億円の持分法投資損失を営業外費用として計上しております。

以上でご説明を終わります。ご清聴ありがとうございました。



<https://www.segasammy.co.jp/>

ネバダ州ゲーミング法令及び規制に関わる、投資家・株主への注意事項

当社は、株式公開会社としてネバダ州ゲーミング・コミッションに登録されており、当社の子会社として米国ネバダ州で事業を行う、セガサミークリエイション株式会社及びその完全子会社であるSega Sammy Creation, USA, Inc.の2社の株式を直接的又は間接的に保有することについて適格であると認定されています。両子会社は、ネバダ州においてゲーミング機器を製造・販売するライセンスを受けております。ネバダ州法の規制により、当社の株主もネバダ州ゲーミング当局が定める規則の適用対象となります。当該規制の内容については、<https://www.segasammy.co.jp/japanese/ir/stock/regulation/>をご覧ください。

グループの製品・サービスについては、下記Webサイトをご覧ください

<https://www.segasammy.co.jp/japanese/pr/corp/group/list.html>
(セガサミーグループ会社一覧)

- ・ 本資料に記載されている会社名及び製品名等は、該当する各社の商標または登録商標です。